

事務事業チェックシート

事務事業No 530 事業名 脱色設備運転管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
取組方針	4	公共下水道事業・集落排水事業の適正管理

事業種別	継続	
事業期間	永年	
事業実施の根拠法令	和歌山市排出水の色等規制条例	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	終末処理場管理課	岩崎 秀昭 (444-2463)
関連課	(和歌川終末処理場)	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道事業特別会計		
	款	下水道事業費		
	項	下水道管理費		
	目	脱色施設管理費		
	大事業	脱色設備管理事業		
事項	脱色施設運転管理事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	放流先である和歌川の水質汚染を防ぐため	排出水の色等規制条例に基づき、和歌川終末処理場内にある脱色施設 (凝集沈殿設備、砂ろ過設備及びオゾン処理設備) の運転及び維持管理 通常は、凝集沈殿及び砂ろ過で脱色しているが、排水基準に達しない時には、オゾン処理設備を運転し、基準を遵守している。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		色条例における排水基準の遵守 脱色施設の運転管理事業を含む維持管理	色条例における排水基準の遵守 脱色施設の運転管理事業を含む維持管理	色条例における排水基準の遵守 脱色施設の運転管理事業を含む維持管理	色条例における排水基準の遵守 脱色施設の運転管理事業を含む維持管理	色条例における排水基準の遵守 脱色施設の運転管理事業を含む維持管理

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	267,969	260,751	289,905	264,191	306,280	261,486	297,924		297,924	
伸び率 (%)	-	-	8.2%	1.3%	5.6%	▲1.0%	▲2.7%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	8,807	8,724	8,724	7,414	7,417	9,653	7,417	9,653	
	正規職員以外	201	375	375	417	1,250	1,439	1,250	808	
	小計	9,008	9,088	9,088	7,831	8,667	10,802	8,667		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	267,969	260,751	289,905	264,191	306,280	261,486	306,280			
所要人数 (人)	正規職員	1.16	1.17	1.17	0.97	0.98	1.21	0.98		
	正規職員以外	0.10	0.19	0.19	0.19	0.36	0.48	0.36		
主な予算内訳	管理委託料134,270千円、消耗品費84,845千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値
活動指標	着色度測定回数24回/年 (簡易測定は1回/日 水質管理、脱色施設運転管理に用いる)	回	目標値	24	24	24	24	
			実績値	24	24	24		
			達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	色条例の基準値の遵守	%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	100	100	100		
			達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標			目標値					
			実績値					
			達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>排水の色等規制条例を遵守することにより、放流先である和歌川の水質汚染を防ぐことができている。 施設の老朽化による修繕等の維持管理費用が増加していくであろうが、和歌川の水質汚染防止と法令遵守のため今後も事業を進めていかねばならない。</p>
見直し・改善内容	<p>コスト経費の節減を目指し、運転方案を含めて創意工夫しさらなる節減に取り組む</p>